

令和7年度 第1回 福岡市環境審議会 議事要旨

1 日時 令和7年5月12日(月) 16:00~17:40

2 場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール メインホール A

3 出席者(五十音順、敬称略)

氏名	役職等
阿部 真之助	市議会議員
石橋 勇志	九州大学大学院 農学研究院 教授
猪野 猛	福岡商工会議所 理事・事務局長
大石 修二	市議会議員
大原 弥寿男	市議会議員
大森 一馬	市議会議員
押川 千恵	独立行政法人国立病院機構福岡病院 耳鼻咽喉科 科長
包清 博之	九州大学 名誉教授
菊水 之恵	日本野鳥の会 福岡支部 幹事
小出 秀雄	西南学院大学 学術研究所長
勢一 智子	西南学院大学 法学部 教授
平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事
高木 勝利	市議会議員
田中 綾子	福岡大学 工学部 教授
西下 尚樹	九州経済産業局 資源エネルギー環境部 次長
野村 久子	九州大学大学院 農学研究院 准教授
林 灯	九州大学 エネルギー研究教育機構 教授
久留 百合子	リエゾンオフィス代表/消費生活アドバイザー
松山 倫也	九州大学大学院 農学研究院 特任教授
馬奈木 俊介	九州大学大学院 工学研究院 教授
森 あやこ	市議会議員
山内 勝也	九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授
山田 ゆみこ	市議会議員

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 循環型社会構築部会の報告
- (3) 博多湾環境保全計画（第三次）の素案について（報告）
- (4) 福岡市環境基本計画（第四次）素案策定作業部会の報告
- (5) 部門別計画の策定着手について
- (6) 閉会

5 議事要旨

(1) 開会

環境局長あいさつ

(2) 循環型社会構築部会の報告

【委員】

資料 1-1 を基に概要報告

【事務局】

資料 1-2 について説明

(3) 博多湾環境保全計画（第三次）素案について（報告）

【事務局】

資料 2-1 について説明

【委員】

マイクロプラスチックの問題について、例えば調査や回収などの取組みが入っていないようにお見受けする。同問題に今後どのように対応していくのか。

【事務局】

港湾空港局や農林水産局等で海面や海底のごみ清掃等を行っており、その中でプラスチックごみも回収されている。小さくなったものの回収はなかなか難しいところだが、そうした活動を通してプラスチックごみを削減していきたいと考えている。また、併せて、陸上から流れてくるごみの対策等を進めてまいりたい。

【委員】

様々な NPO 団体が、日々清掃を行ったり、子どもたちへの教育を行ったりしていると思う。こうした活動について情報発信していただくと、市民が活動しやすくなるので、ぜひ計画の中にも入れてほしい。

【委員】

福岡市民はどちらかというと、新しいビルができたとか、新しい飲食店がオープンしたとか、そういう都会的なものへの関心が高く、博多湾については、例えば、森や川から博多湾

につながっている等、そういう特徴に対する関心が低いと感じる。コラムに博多湾における干潟の重要性を記載してもらっているが、これをどのように市民の方々に伝えていくかが今後の課題ではないかと思う。これからは、そこに重点を置いて取組みを進めてほしい。

【事務局】

干潟の重要性は強く認識している。また、森、川、海、流域全体でつながっているという考え方については、市民向けの講習や体験活動を通して伝えている。今後、活動の充実等を図りながら、市民に博多湾の重要性を認識していただけるように取り組んでいきたい。

【委員】

博多湾における干潟の重要性について、市民や世界の方々にも広げていけるように、計画の中に湿地を守るためのラムサール条約について記載してほしい。干潟は生物多様性を育んでいる場所であり、また、バードウェイという世界の中の鳥が飛来してくる道がこの福岡にあることを市民や、世界中の方々にも知ってほしい。そういう意味で、コラムなどでラムサール条約について書き加えてほしい。

【事務局】

干潟の重要性について、コラムの中で、渡り鳥の重要な湿地である等の記載を検討する。

(4) 福岡市環境基本計画（第四次）素案策定作業部会の報告

【委員】

資料 3-1 を基に概要報告

【事務局】

資料 3-2～3-5、参考資料について説明

【委員】

コラムや図を入れてわかりやすくなっているが、全体的に文章が長いという印象を受けた。「こういうことが必要です」とたくさん書かれていて読み疲れるので、もう少し簡潔に書いた方がいいのではないか。

【事務局】

ご意見を踏まえて精査するとともに、概要版で工夫を行う。

【委員】

博多湾環境保全計画と同様に、希少な干潟が福岡にあるということを伝えられるような表現があればよいと思った。環境を改善するということは、市民の健康にもつながるし、自分たちの行動が気候変動対策にもつながる。本当に希少なものがここにあり、それを守ろうという意識に直接つながる記載があるとよい。それがネイチャーポジティブの意識を強めていくことにもつながる。

また、ペロブスカイト太陽電池や、太陽光パネルの耐用期限についての記載があるが、市民がどのように意識したらいいのかがわかりやすく表現されているとよいと思った。ペロブスカイトは素材が全て安全なものかどうか、まだまだ研究が必要なので、その点の記載も含まれたらよい。

【事務局】

ご意見を踏まえて精査する。

【委員】

成果指標について、作業部会でも大分議論したことだが、市民意識の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足すと非常に高い数値になる。市民がこれを見たときに「こんなに数値が高いんだな」と、あまり危機感を抱かないと思われる。また、説明にあった「そう思う」というところに注目していくということを計画にも記載すべきだと思う。

【委員】

今後 PDF で情報公開することが増えていくと思うが、今回作成された PDF 資料は、画像として保存されているため文字検索ができない。公開するものなので文字検索ができるようなデータにすることが望ましい。

【委員】

成果指標について、行動変容につながるものとそうではないものがある。行動変容に関しては、「そう思う」ではなく、「実践している」か「していない」かについて評価するべきではないか。そこが混在していて、市に対しての満足度を問うものや、実際に自分が関わっているもの、意識を問うものなど様々で、整理した方がよい。

【事務局】

ご意見のとおり、指標には行動を問うもの、意識を問うものの両方がある。ご指摘も踏まえ、今後、毎年数値をとっていき中でしっかり分析していく。

【委員】

成果指標が達成された際に、ウェルビーイングがどの程度改善したか数値で示すことができれば、何のためにやっているのか市民に理解されやすいと思う。

【事務局】

今後、進捗管理をしていく中で、ウェルビーイングの向上を示す工夫ができないか、検討していく。

【委員】

私が所属する病院では、約 40 年にわたり主に空中花粉の観測をしており、年々変動はあるが、増加傾向が続いている状況である。今年はこの観測が始まって最も飛散数が多い年だった。国も発生源対策として 2033 年までに現在の花粉数よりも平均して 2 割減を目指すことを掲げている。福岡市はもともと森林が多いわけではないと思うが、福岡市としての対策を教えていただきたい。

【事務局】

花粉の飛散対策として、無花粉のスギへの植え替えや、針広混交林化などを農林水産局が行っている。

【委員】

植え替えはまだ全国的にも 1%にも満たない。今どれぐらい植え替えが進んでいるかなど、何か指標や数値がわかれば教えてほしい。

【事務局】

後日、農林水産局に確認し、資料提供する。

【会長】

花粉症対策に関して、計画の中で何か位置づけがあるのか。

【事務局】

計画の 83 ページに、「花粉発生源の削減のため」ということで植え替え等について記載をしている。

【委員】

全体的に見やすくなっているが、「現状と課題」のページのタイトルの言葉が強めで、「必要です」、「重要です」が繰り返されているため、修正が必要だと思う。

【事務局】

ご意見を踏まえて、表現について精査したい。

【委員】

86 ページのビジョン「九州・アジアとつながる環境協力のまちづくり」について、「暮らします」、「進めます」、「貢献します」とあればビジョンと言えるが、「暮らしています、進んでいます、貢献しています」と現在の状況を書いてもビジョンとは言えないのではないか。

【事務局】

ビジョンは、将来の状態を示すもので、将来こうなっていますという意味で「しています」という表現をしており、そのための取組みを記載している主な施策では「します」という表現をしている。

【委員】

市民は、今の環境にどう適応していくかというところにも関心が高いと思う。その意味で、59 ページの「気候変動によるリスクに備える」の項については、もう少し写真等も含めて、市民に伝わりやすいように描いた方がよいと思う。

【事務局】

ご意見を踏まえて検討する。

【委員】

85 ページの「美しく、住みよい生活環境をつくる」の部分では、「地域」という言葉が何度か出ている。この「地域」については、「地理的な範囲」という意味と、「地域社会」という2つの意味が混同して使われているように見受けられるので、整理が必要である。

【事務局】

ご意見を踏まえて精査する。

【会長】

他に意見がないようであれば、本日の議論は以上とする。皆様からいただいた意見を踏まえた修正の確認は、私に一任していただき、本審議会の答申としたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

(5) 部門別計画の策定着手について

【事務局】

資料 4-1 について説明

(6) 閉会

以上